

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	104								
事務事業名	各種施設管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目	区分	一般会計	款	10	項	06	目	02	事業	02
担当部	教育委員会	担当課	スポーツ振興課		担当係	管理 係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: スポーツ推進計画)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: スポーツ基本法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市社会体育施設の設置及び管理に関する条例・施行規則)													

2 事務事業の目的		当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																		
現状課題	市内12か所の社会体育施設に指定管理制度を導入し、指定管理者と連携を図り各種施設の管理運営を実施しているが、社会体育施設の大半が竣工以来20年以上が経過し老朽化していることから、利用者のスポーツ環境確保のための施設整備が拡大傾向にある。	誰・何を対象に	経年劣化した指定管理施設を含む社会体育施設																望ましい状態	市民の健康で活気ある社会生活に寄与するため、生涯スポーツ社会の実現を目指し、市民がいつでも利用できる安全安心なスポーツ環境を有した社会体育施設とする。
	どのような方法・手順で	指定管理者と連携を密にし、施設の劣化状況に応じた整備計画を策定し、計画的に改修・修繕を実施していく。																		

3 事務事業の主たる成果指標		数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																								
指標名	利用者数	単位	人	目標値	330,000	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)										指定管理者との連携を密にし、充実したスポーツ環境の提供により、施設の利用者数の向上を図ることで、スポーツ人口の拡大につながるものと考えられる。							

4 事務事業の実績 ㊦		当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																	
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度										
事務事業を構成する主な業務	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量								
	① 小貝球場内野・外野整備業務				① 吉野サン・ピレッジサッカー場人工芝張替工事(スポーツ振興くじ助成事業)				① 水海道球場浄化槽修繕										
					② 水海道総合体育館主競技場(研磨)改修工事				② 消防設備修繕(水海道総合体育館・きぬ温水プール・水海道球場)										
				③ 水海道総合体育館照明制御設備改修工事				③ 特殊建築物定期調査報告業務(水海道総合体育館)											
				④ きぬ温水プールろ過装置改修工事				④ 特殊建築物定期調査報告業務(石下総合体育館)											
				⑤ 石下体育館閉鎖				⑤ 施設老朽化による三妻プール廃止											
				⑥ 鬼怒川緊急プロジェクトにおける築堤改修による豊岡球場の廃止															
		目標値に対する実績値		310193 人		目標値に対する実績値		304580 人		目標値に対する実績値		306406 人							
決算額	計	9,004,731 円	内訳	特定財源		円	計	134,176,631 円	内訳	特定財源	24,000,000 円	計	10,295,460 円	内訳	特定財源		円		
				一般財源	9,004,731 円					一般財源	110,176,631 円				一般財源	10,295,460 円			
		(住民一人あたりの行政コスト)		148 円		(住民一人あたりの行政コスト)		2,219 円		(住民一人あたりの行政コスト)		172 円							

5 担当者評価 ㊧		実施したことによる成果や問題点を記入してください。																	
成果	ほぼ目標どおり	成果内容	・水海道球場の浄化槽修繕の他、利用者の安全確保のための消防設備修繕を計画どおり実施することができた。また、法律に沿った特殊建物定期調査についても期限までに実施することができ、利用に支障をきたさないよう指定管理者と連携し施設開放を実施できたものと思われる。 ・利用者の安全を考慮し、平成29年度の石下体育館閉鎖に加え、平成30年度をもって三妻プール開放事業を終了した。																
	問題点	国体やオリンピックを控え、市民のスポーツに対する関心が高まる中、主要施設の老朽化による修繕が増加の傾向にある。国体開催による来場者への対応や増加する利用者に対応し、安全安心、そして整備されたスポーツ環境を提供するためにも大規模な改修を実施することを検討していかなければならない。																	

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。																	
事務事業の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由	市内全社会体育施設の経年劣化による修繕は増加傾向にあり、今後も整備計画を策定し、安全で安心なスポーツ環境を提供するため継続的に実施する必要がある。																		

7 実施計画 ㊩		今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																	
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度										
事業内容	● 石下総合体育館空調設備設置及び屋根補修工事実施設計委託(350万円) ● 石下総合体育館空調設備設置及び屋根補修工事管理委託(200万円) ● 石下総合体育館空調設備設置及び屋根補修工事(199,300,000円) ● 石下総合体育館非常用蓄電池交換工事(700,000円) ● 消防設備修繕(石下総合体育館及び石下球場)(1,500,000円) ● 水海道総合体育館8連窓修繕(2箇所)(500,000円) ● 石下総合体育館トイレセンサー修繕(213,000円) ● きぬ温水プール更衣室除湿器修繕(180,000円) ● きぬ温水プール障がい者用更衣室出入口改修(470,000円) ● 防火対象物定期報告調査(水海道総合体育館・石下総合体育館) ● 豊岡球場整備実施設計				● 豊岡球場整備工事(約4000万円)(to:約2000万円助成) [※H30年度 豊岡球場移転補償料として15,546,555円 歳入済] ● 原山球場3塁側フェンス及びバックネット改修工事 ● 原山球場器具庫新設工事 ● きぬ温水プール障がい者用トイレ出入口床修繕 ● きぬ温水プールシャワーバルブ修繕 ● きぬ温水プールエアハンドリングユニット修繕 ● きぬ温水プールエアコン改修工事 ● 消防設備修繕(石下総合体育館・石下球場) ● 防火設備定期検査報告業務(水海道総合体育館・石下総合体育館)毎年				● きぬ温水プール可動式屋根スライディングドア修繕及び天井ボード張替工事実施設計業務委託 ● きぬ温水プール可動式屋根スライディングドア修繕及び天井ボード張替工事 ● 特殊建築物定期調査報告業務(水海道総合体育館) 3年に1回 ● 特殊建築物定期調査報告業務(石下総合体育館) 3年に1回 ● 社会体育施設長寿命化計画策定業務(1500万円) ● 石下体育館解体工事(9000万円) ● 防火設備定期検査報告業務(水海道総合体育館・石下総合体育館)毎年(50万円) ● きぬ温水プール温水器改修工事(470万円) ● 水海道総合体育館(副競技場・トレーニング室)エアコン設置工事()										
	成果指標	指標名	利用者数	単位	人	目標値	300,000	指標名	利用者数	単位	人	目標値	300,000	指標名	利用者数	単位	人	目標値	300,000

8 財務アドバイザーの見解		『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については本実施計画の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。																	
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見		担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。施設の老朽化はもはや全国的な課題である。スポーツ環境を整えることは、健康のみならず市民生活に寄与するものであり、また、施設利用者の安全確保の為に、適切な維持管理を徹底していただきたい。長期計画のもと、優先順位をつけて計画的に進めるべきである。																	
------------------	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪		事務事業の方向性																	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由	市民がスポーツを楽しむ機会を継続的に提供するには、施設の適切な維持管理が不可欠であり、老朽化した温水プールや豊岡球場を整備するため拡充すべき事業とする。																		

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊫		事業内容																	
		社会体育施設の老朽化について、ソフト面においては、現指定管理者の実績(成果)により十分保っている状態ではあるが、ハード面となると老朽化が著しい状態である。それらを踏まえ、長寿命化計画の策定をし今後実施していきたい。																	

予算額	歳出	計	209,703 千円				歳出	計	50,247 千円				歳出	計	175,550 千円				
			特定財源				千円		特定財源	30,152 千円				特定財源	10,152 千円				
	歳入	計	209,703 千円				歳入	計	50,247 千円				歳入	計	185,702 千円				
			一般財源	209,703 千円				一般財源	20,095 千円				一般財源	175,550 千円					
			計	209,703 千円					計	50,247 千円					計	185,702 千円			